

産学官フロントライン

鳥取銀行

「産学官金連携の取り組みについて」

鳥取銀行ふるさと振興部 地域ビジネス推進室

当行では、地域金融機関として、地域経済発展のため産学官金連携によるお取引先企業の課題の解決を支援する取組みを強化しております。これまでの当行における各種取組みについてご紹介をさせていただきます。

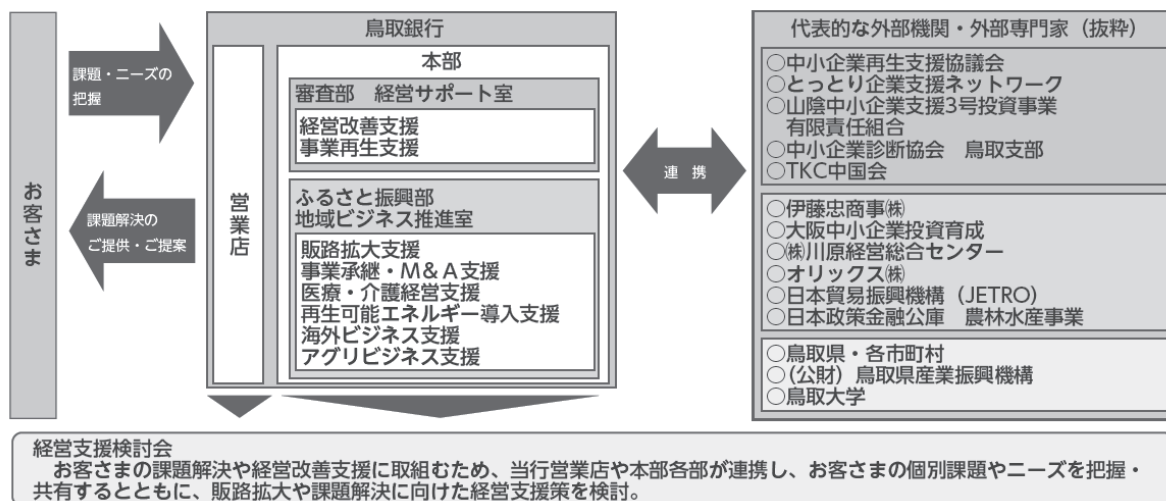
1. 産学官金連携の支援体制

当行の支援体制としては、本部の「ふるさと振興部 地域ビジネス推進室」が産学官金連携の窓口となり、営業店が収集したお取引先の経営課題やニーズに対して、鳥取県内の各自治体や鳥取県産業振興機構および鳥取大学等と連携し、課題解決のサポートを実施しています。

鳥取銀行の中小企業の経営支援態勢

中小企業の経営支援に関する態勢整備

当行では、営業店、本部が一体となって中小企業の皆さまの経営支援に取り組んでいるほか、外部機関や外部専門家とも連携し、お客さまの課題解決のためのサポートを実施しております。



2. 鳥取大学との連携事業

当行は、産学連携を一層強化し地域産業発展に資する目的で、平成16年11月に鳥取大学と「連携協力に関する協定書」を締結しており、人事交流や、産学官コーディネーター連絡会等での情報交換を行うほか、企業と大学のマッチングを目的としたお取引先向けセミナーの開催などを行っています。

(1) 鳥取大学・鳥取銀行との合同セミナー開催

鳥取大学と合同で、当行のお取引先企業や営業店行員を対象として、特定の産業分野の動向や産学の共同研究につながる各種のセミナーを開催しています。

鳥取大学・鳥取銀行の連携した取組

時 期	項 目	内 容
平成23年 11月・12月	鳥取銀行リエゾンセミナー（行員向け）	鳥取大学と共同研究を行う企業から講師を招へいし、産学官金との連携について説明
平成24年3月	鳥取大学・鳥取銀行連携セミナー	テーマ：「地域医療連携」
平成24年11月	鳥取大学・鳥取銀行連携セミナー	テーマ：「機能性商品開発」
平成25年1月	鳥取銀行リエゾンセミナー（行員向け）	大学との共同研究実施企業を講師に招き、産学官金との連携による成功事例について説明
平成25年3月	鳥取大学・鳥取銀行連携セミナー	テーマ：「未利用資源活用」
平成25年10月	鳥取大学・鳥取銀行連携セミナー	テーマ：「医工連携」
平成26年2月	鳥取大学・鳥取銀行連携セミナー	テーマ：「製造業の技術革新」
平成26年9月	鳥取大学・鳥取銀行連携セミナー	テーマ：「地域資源の活用」

(2) 鳥取銀行ホームページ上での技術シーズ紹介

当行では企業ニーズと大学とのマッチングの橋渡しとなり、新技術開発や企業の抱える経営課題の解決を支援する活動として、平成25年7月から、鳥取大学の研究者の技術シーズを作成し、当行のホームページ上で紹介する取り組みを行っています。

鳥取大学が保有する技術シーズや研究結果、技術の活用事例などをインタビュー形式で紹介することによって、わかりやすく解説しています。

鳥取銀行が紹介する鳥取大学の技術シーズ

鳥取大学・技術シーズ紹介

Seeds

鳥取銀行では、鳥取大学が保有する技術シーズ（技術のタネ）と企業ニーズのマッチングを行い、新技術の開発や経営課題の解決を支援する活動に取り組んでいます。
本ホームページ上のマッチングの機能により、みなさまが抱える経営課題の解決や新産業開拓のヒントに繋がればと考えています。

Vol.1
「ヒット現象の数理モデルを用いたSNSマーケティング」
平成25年7月発行

ソーシャルネットワークシステム(SNS)が当たり前の今では、多くの企業がFacebookやTwitterといったソーシャルメディアを活用し、プロモーションやマーケティングに取り組んでいます。また、今月(平成25年7月)の参議院選挙ではインターネット選挙運動が解禁された初めての選挙となるなど、今後ますます注目されることが予想されます。
そのような中、今回は鳥取大学工学研究科の石井先生は、ソーシャルネットワークシステムを用いてネット現象を解析する研究に取り組んでいらっしゃいます。
SNSとヒット現象という両者の因果関係を証明できれば、費用を抑えた広告宣伝の最適化やマーケティング戦略として活用することが出来ます。

今回お話を伺ったのは…
鳥取大学 工学研究科 教授
石井 晃 先生

鳥取大学工学研究科「情報科学」専攻の准教授。2008年より、鳥取大学に在籍。専門分野は、情報科学、特にネットワークシステムとSNSの応用研究である。

どのような研究をされているのですか？

ブログやTwitter などソーシャルメディアの爆発的な発展、動画、ヒット曲、流行など、広く大衆に受け入れられるヒット現象や物事を分析する際に、ネットワーク現象の数理モデルを用いて解析する研究を行っています。ヒット現象という現象が起るメカニズムを解明し、ヒット現象の予測の方向性を導くのが本研究の最終的な目的です。

企業の皆様へコメントをお願いします。

私は主に映画を中心にマーケティングの観点と理論構築を行ってまいりましたが、その後の研究で、本誌はヒットのロードマップや「SNS」の活用など、幅広い分野での活用が期待されています。本誌に掲載された「SNS」の活用が、企業様の課題解決の一助となることを願っています。

企業様の情報は自社の商品やサービスをヒットさせるにはどうすればよいのか、一番の課題であると思います。

本研究を活用いただくことにより、その課題解決の一助となることを願っています。

まずは一度ご相談いただければ、本誌の内容を公開いたします。掲載から1週間以内にお電話かメールでのご相談や、お打ち合わせの場があれば、お打ち合わせが可能です。お気軽にご相談ください。

タネをどのように使ってヒット商品を生み出すのか、そのヒントが「SNS」現象の数理モデル」に隠れているものと思っています。

本研究により支援できる企業として…

- ・より多くの企業及び商品の認知を促したい
- ・自社でSNSのサイトを運営しているが、効果が見えない
- ・販売促進費の費用対効果を検証し、効率的な広告宣伝を実施したい
- ・継続して広告宣伝を実施し、データをお持ちの企業とすぐに繋がり合いたい

個人顧客が相手の企業

- ・通信販売やカタログ販売など、個人顧客相手の商売(B to C)に取り組んでいる企業

最後までご覧いただきありがとうございます。
鳥取大学の技術シーズにご興味がありましたら、鳥取銀行の各本支店へお気軽にご連絡・ご相談ください。

【発行所】 鳥取銀行ふるさと振興部 地域ビジネス推進室
担当：金山 雄樹
お問合せ(0857)377-0274

TOTTORI BANK 鳥取銀行

3. 行政との連携について

当行では鳥取県内の経済・産業振興を図るため、企業立地・販路開拓支援等に関する業務協力について鳥取県（平成19年12月）および、鳥取市（平成21年1月）と業務協力協定を提携しております。

業務協力協定による取り組みとして、販路開拓支援事業（商談会の開催）や、企業力アップ支援事業（セミナー開催）など地元企業の経営力強化に向けた取り組みを共同で実施する事によって、鳥取県の経済活性化に取り組んでいます。

4. 最後に

当行では、今後も行政・大学等との連携をより強化していくことによって、お取引先企業の抱える様々な課題に対し、最適なソリューションを提供し、企業の成長を支援することを通じて、地域経済活性化に繋がっていきたくと考えております。

【お問い合わせ】

鳥取銀行ふるさと振興部 地域ビジネス推進室（担当：金山）

〒680-8686 鳥取県鳥取市永楽温泉町171

TEL：0857-37-0274 E-mail：chiiki@tottoribank.co.jp